保 証 書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

持込修理

コード式スティッククリーナー	品　番　YC-S80G1
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　－	

保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から **本体……1年間** （ただし、消耗部品、付属品を除く）	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 消耗部品の交換 } 等
     仕様変更 }
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、20ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【ヤマダオリジナル商品サポートセンター】TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

Y15

見本

取扱説明書

コード式スティッククリーナー
品番 YC-S80G1

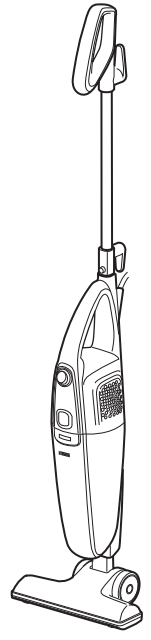
一般家庭用
（業務用としては使用しないでください）

保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
  特に1～4ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
  This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

YAMADA SELECT



もくじ

ページ

安全上のご注意 …… 1～4
使用上のご注意 …… 5～6
各部のなまえ …… 7～8
組み立てかた …… 9～10
使いかた …… 11～12
ゴミを捨てる …… 13～14
お手入れのしかた …… 15～16
故障かな？と思ったら …… 17～18
仕様 …… 19
点検 …… 19
修理サービスについて …… 20
保証書 …… 裏表紙

取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

安全上のご注意

必ずお守りください

3ページへつづく

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

禁止 ⃠は、してはいけない「禁止」の内容です。	一般的な禁止　分解禁止　水場での使用・保管禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止
強制 ❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	❗必ず行う　電源プラグを抜く

⚠ 警 告

異常・故障時には、ただちに使用を中止する

使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。
- 電源プラグや電源コードを動かすと運転したり、しなかったりする。
- 異常なにおいや音、振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。
- 「電源スイッチ（O／❙）」を切り替えても、運転しない。
- 運転中、時々止まる。
- その他の異常がある。

※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」に点検、修理を依頼してください。

灯油・ガソリン・シンナーなど引火性のあるもの、タバコの吸殻など火の気のあるものや印刷機のトナーなどの可燃物を吸わせない

発火・火災の原因となります。

運転中にスティックを取り付けたり、取り外したりしない

けがの原因となります。

ホコリの多い場所や油煙の当たる場所に保管しない

発火・故障の原因となります。

本体の排気口やすき間に指などを入れない

感電・けがの原因となります。

⚠ 警 告

水や液体また、多量の粉末は吸わせない

発火・火災・故障の原因となります。

ぬれているフィルター・ダストカップは使用しない

感電・発火の原因となります。

人やペットに向けて使用しない

けが・事故の原因となります。

屋外では使用しない

発火・故障・けがの原因となります。

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナーなど）の近くで使用しない、保管しない

爆発・火災の原因となります。

子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない

やけど・感電・けがの原因となります。

吸込口や排気口をふさがない

発火・火災の原因となります。

業務用として使用しない、また、不特定多数の人が使うところに置かない

長時間の連続吸引を避けてください。

絶対に改造、分解をしない

分解禁止

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない

水場での使用・保管禁止

絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜きさしをしない

ぬれ手禁止

ショート・感電・けがの原因となります。

本体・電源プラグは水洗いしない（水洗いできる部品は除く）

水ぬれ禁止

感電・発火・故障の原因となります。

電源プラグは清潔にする

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
発煙・発火・火災の原因となります。

電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む

さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

3ページへつづく

⚠ 警 告

本製品は必ず屋内で使用する
本製品は屋内用です。屋外でお使いになると故障・破損・けがの原因となります。

電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない
電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。
感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因となります。

運転中に電源プラグの抜きさしはしない
故障の原因となります。

電源は、交流100Vのコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントに長時間さし込んだままにしない
絶縁劣化による感電・火災・けがの原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く
感電・ショート・発火・火災の原因となります。

お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
感電・発火・火災・故障の原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

⚠ 注 意

掃除以外の目的では使用しない
けが・故障の原因となります。

フロアノズルなどが摩耗したり、砂・小石などの異物が付着したら、そのまま使わない
床面の傷つきの原因となります。ご使用前に点検し、摩耗時はお買上げの販売店にご相談ください。

火気に近づけない
変形によるショート・発火の原因となります。

ベンジン・シンナー・アルコールで拭いたり、殺虫剤などのスプレーをかけたり、油や薬品を使う場所では使用しない
本製品が変質したり、故障の原因となります。

⚠ 注 意

本体の排気口やすき間に金属物や異物を入れない
感電・けが・故障の原因となります。

本製品を引きずったり家具や壁にぶつけない
床面などを傷つける原因となります。

ノズルなどの付属品と消耗部品は本製品専用の付属品以外を使用しない
けが・故障の原因となります。

本体にのったり、重いものをのせたり、強い衝撃をあたえない
けが・事故・発火・故障の原因となります。

使用中や使用直後はお手入れをしない
けが・やけど・事故の原因となります。

吸込口やフィルターにゴミなどが詰まったままで長時間使わない
発火・火災・故障の原因となります。

コンセントの周りは清潔にする
絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。

移動するときは、必ずスティックハンドルまたは、本体ハンドルを持って移動する
フロアノズルやダストカップを持って移動しないでください。けが・事故・故障の原因となります。

倒れやすいもの、壊れやすいものの近くで使用しない
財産の損害や倒れてけが・故障の原因となります。また、床面を傷つける原因となります。

ふとん圧縮袋など吸込口に負担が掛かる使用はしない
けが・故障の原因となります。

ノズルなどの本製品専用付属品と消耗部品を本製品以外に使用しない
けが・故障の原因となります。

吸込口を床や家具に強く押しつけたり、フロアノズルを横方向に引きずらない
床面や家具を傷つける原因となります。

排気口から出る風を長時間当てない
低温やけどをするおそれがあります。

ぬれた手で使用しない
ショート・感電の原因となります。

すきまノズルを使用するときは、スティックを取り外した状態で使用する
けが・故障の原因となります。

電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

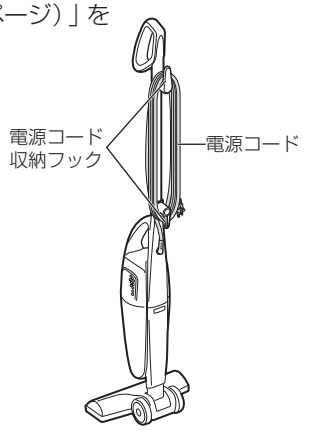
使用上のご注意

お願い

- **ゴミはこまめに捨ててください**
  フィルター·フロアノズル·すきまノズルに詰まり、故障の原因となります。
- **ダストカップ・フィルターのお手入れは定期的に行ってください**
  吸込力の低下や故障の原因となります。
- **ダストカップ・フィルターは専用のものを正しく取り付けてください**
  吸込力の低下や故障の原因となります。
- **本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください**
  発火・故障の原因となります。
- **天災などの不可抗力による損害、不当な修理・改造による故障などに対する保証はいたしかねます**
- **次のようなものは吸わせないでください**
  フィルターやノズルに詰まり、故障・異臭・発火の原因となります。
  ・殺虫剤などの薬品類　・除湿剤　・多量の粉（消火器の粉など）
  ・スプレー　・ペットなどの排泄物が付着したもの　・水や液体
  ・ガラス　・ピン　・針などとがったもの　・つまようじ　・長いひも
  ・大きなゴミ　・湿ったもの　・カーペットのフリンジ（房）
  ・吸込口に詰まりやすいもの（ストッキングなど）
- **小石・砂などがある場所は掃除しないでください**
  故障・異臭の原因となります。
- **本体の先で吸わないでください**
  必ずフロアノズルまたは、付属のすきまノズルを接続してください。先端の摩耗などによる接触不良や破損の原因となります。
  ➡狭所はすきまノズルをご利用ください。
- **吸込口や排気口をふさいだまま使わないでください**
  故障の原因となります。

保管のしかた

- **各部のお手入れを行い、水洗いしたダストカップ・フィルターは水をよく切って十分に陰干しで乾燥してください。ぬれたまま保管すると、感電・発火・故障の原因となります**
- **電源コードを収納し、平らな安定した状態で保管してください**
  ·電源コードの収納のしかたは、「**収納のしかた**（☞12ページ）」をご参照ください。
- **次の場所には保管しないでください**
  ・直射日光の当たる場所
  ・高温多湿になる場所
  ・結露する場所
- **子供の手の届くところに保管しないでください**

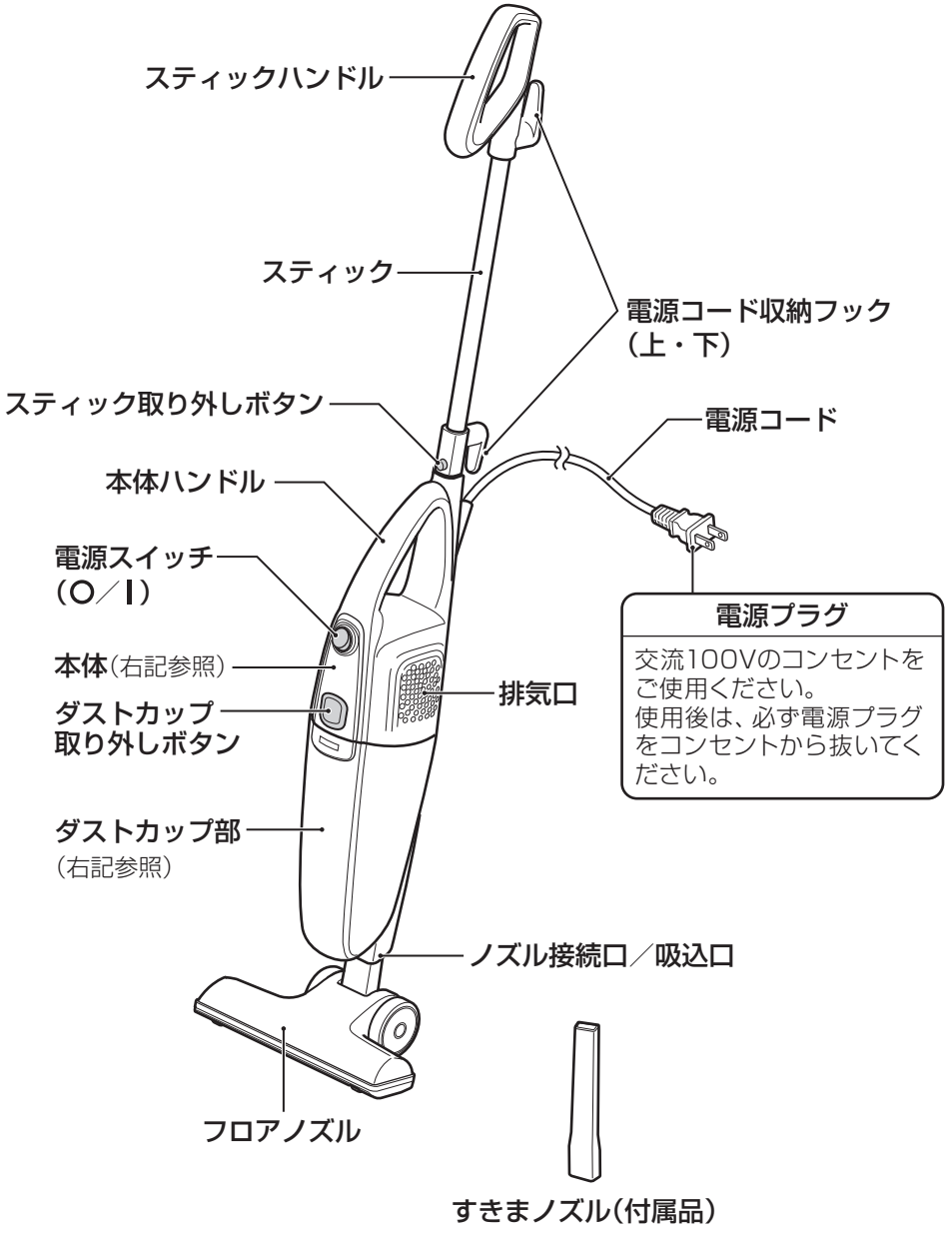


廃棄のしかた

- **商品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください**

各部のなまえ

※組み立てかたは、9〜10ページをご参照ください。



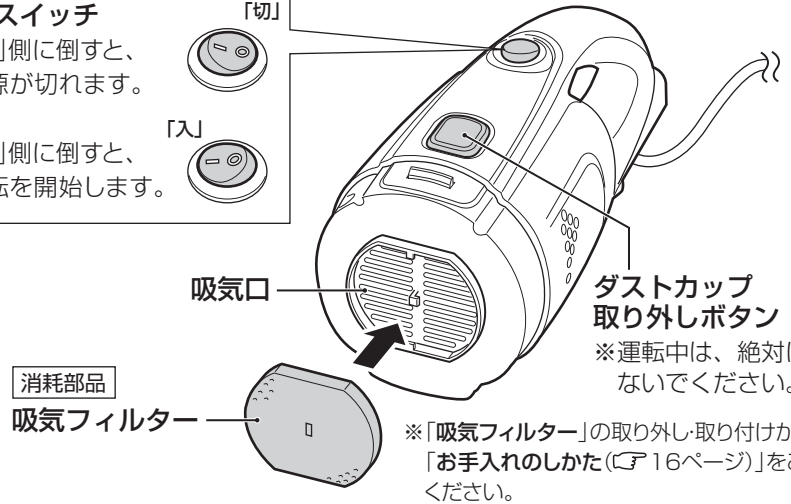
電源プラグ

交流100Vのコンセントをご使用ください。
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体

電源スイッチ

- 「O」側に倒すと、電源が切れます。
- 「I」側に倒すと、運転を開始します。



※運転中は、絶対に押さないでください。

消耗部品
吸気フィルター

※「**吸気フィルター**」の取り外し･取り付けかたは、「**お手入れのしかた**（☞16ページ）」をご参照ください。

ダストカップ部

※「**ダストカップ部**」の取り外し･取り付けかたは、「**ゴミを捨てる**（☞13ページ）」をご参照ください。

消耗部品
フィルター

消耗部品
メッシュフィルター

※お手入れを行うときは、取り外してください。（☞16ページ参照）

組み立てかた

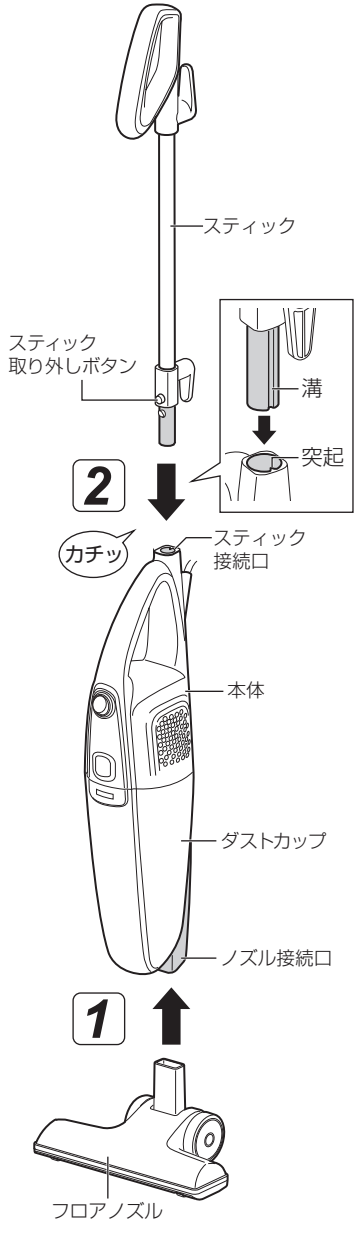
スティッククリーナーとして使用する

※組み立てるときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1 フロアノズルをダストカップのノズル接続口に接続する

※フロアノズルの向きを反対にして接続しないでください。
※無理な力でさし込まないでください。ノズル接続口が破損するおそれがあります。

フロアノズルを取り外すときは
- 電源を切ってから、引き抜いてください。

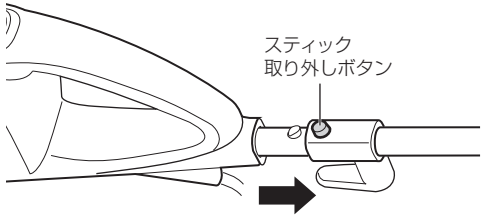


2 スティックを本体の接続口にさし込む

- スティックの溝と、本体のスティック接続口の突起を合わせてさし込んでください。

※“カチッ”と音がするまで確実にさし込んでください。
※スティックをさし込むときは、手や指などを挟まないようにご注意ください。

スティックを取り外すときは
- 電源を切り、スティック取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



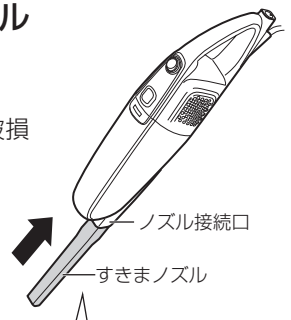
ハンディクリーナーとして使用する

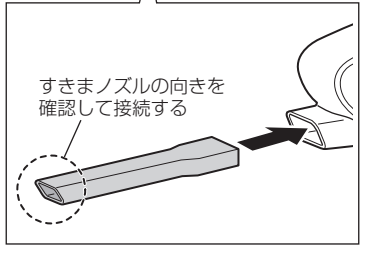
※組み立てるときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1 付属のすきまノズルをダストカップのノズル接続口に接続する

※ノズルは、正しい向きで接続してください。
※無理な力でさし込まないでください。ノズル接続口が破損するおそれがあります。

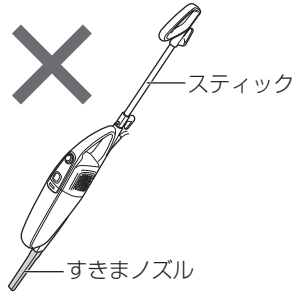
すきまノズルを取り外すときは
- 電源を切ってから、引き抜いてください。





お願い

- 「**すきまノズル**」をお使いになるときは、スティックを取り外し、「**ハンディクリーナー**」としてご使用ください。



掃除する場所に合わせて、フロアノズルとすきまノズルを使い分ける

フロアノズル ▶ ●マット　●じゅうたん・畳　●フローリングなど

すきまノズル ▶ ●サッシの溝　●部屋の隅や手の届かないところ　●家具・小物などのすき間など

お願い

- 掃除するときは、力を入れず、畳の目やフローリングの木目に沿って軽くゆっくり動かしてください。
  強く押しつけると床面や家具に傷をつける原因となります。
- ピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。傷がつくおそれがあります。

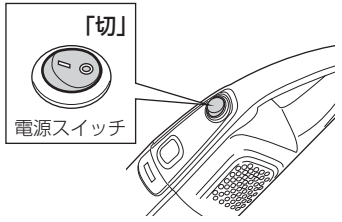
使いかた

お願い

- フィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、故障の原因となります。定期的にお手入れを行ってください。「**お手入れのしかた**（☞16 ページ）参照」
- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。吸込口やダストカップ内部に詰まる場合があります。
- 運転中は必ずフィルターを取り付けてご使用ください。
- 運転中は必ずフロアノズルまたは、付属のすきまノズルを取り付けてご使用ください。
- 吸込口がふさがれたときは、すぐに運転を停止してください。
- ゴミはこまめに捨ててください。ゴミをためたまま使用しつづけると、吸込力の低下や故障の原因となります。
- 持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜き、必ずスティックハンドルまたは、本体ハンドルを持ってください。フロアノズルやダストカップを持つと、けが・事故・故障の原因となります。

1 電源プラグをコンセントにさし込む

- 電源スイッチが「切（○）」になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントの根元まで確実にさし込んでください。

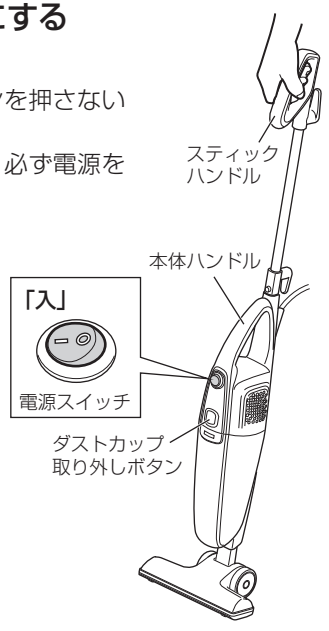


2 スティックハンドルまたは、本体ハンドルをしっかり持ち、電源スイッチを「入（｜）」にする

- 運転を開始します。

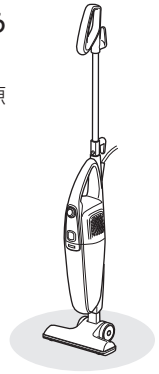
※運転中は、絶対にダストカップ取り外しボタンを押さないでください。

※スティック・ノズルの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。



本製品は、床と垂直になるように立てると自立します。

※自自立させるときは、必ず電源を切ってください。



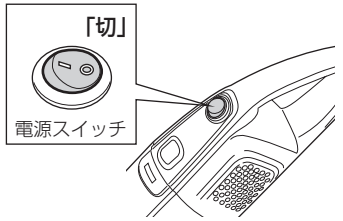
ご注意

- 人やものがぶつからない場所に立ててください。倒れると、けが・故障の原因となります。

3 掃除が終わったら、電源スイッチを「切（○）」にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

※電源プラグは、必ず本体の電源を切ってから抜いてください。

※電源スイッチを「入」にしたまま放置しないでください。



収納のしかた

お願い

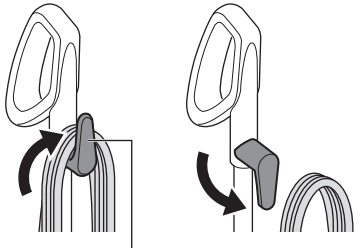
- 収納するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 持ち運ぶときは、必ずスティックハンドルを持って持ち運んでください。

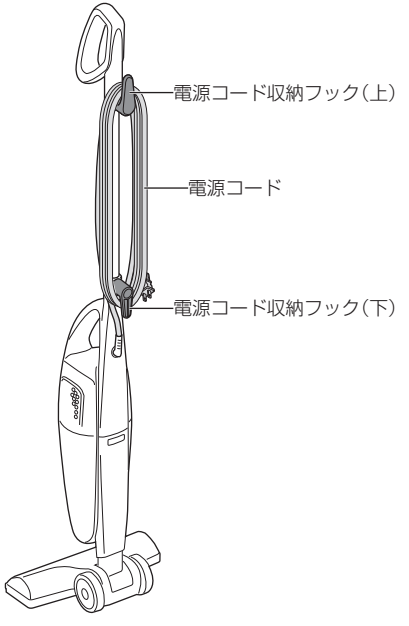
- 本体にフロアノズルとスティックを接続してください。
- 電源コードを、スティック背面の電源コード収納フックに巻きつけてください。

電源コード収納フック（上）は回転します。

- 電源コードを巻きつけるときは、上向きに回転させてください。
- 電源コードを取り外すときは、下向きに回転すると外しやすくなります。

巻きつけるとき　外すとき





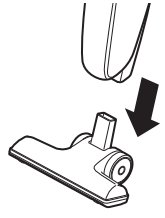
ゴミを捨てる

お願い

- ゴミを捨てるときは電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 定期的にダストカップのゴミの量を確認し、いっぱいになる前に捨ててください。
- ダストカップ内部にたまったゴミは、ご使用のたびに捨ててください。
- 運転中は絶対に「ダストカップ取り外しボタン」を押さないでください。
- ゴミはこまめに捨ててください。ゴミをためたまま使用しつづけると、吸込力の低下や故障の原因となります。

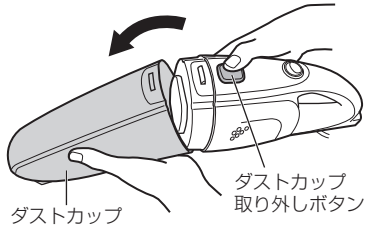
1 ノズルを取り外す

※スティッククリーナーとしてご使用の場合は、スティックを取り外してください。



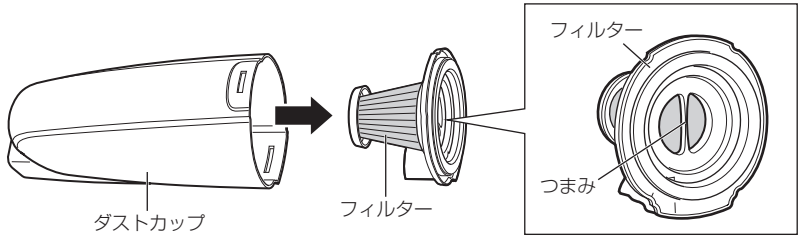
2 「ダストカップ取り外しボタン」を押し、ダストカップ部を取り外す

※ゴミが飛び散る場合がありますので、新聞紙などを敷いて取り外してください。



3 ダストカップからフィルターを取り出す

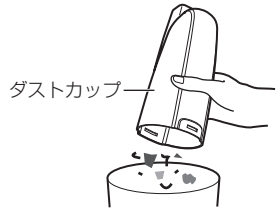
- フィルターのつまみを持って、手前に引き出してください。



4 ダストカップにたまったゴミを捨てる

※汚れが気になる場合は、お手入れを行ってください。

「**お手入れのしかた**(☞16 ページ)参照」



5 フィルターに付着したゴミを取り除く

※汚れが気になる場合は、お手入れを行ってください。

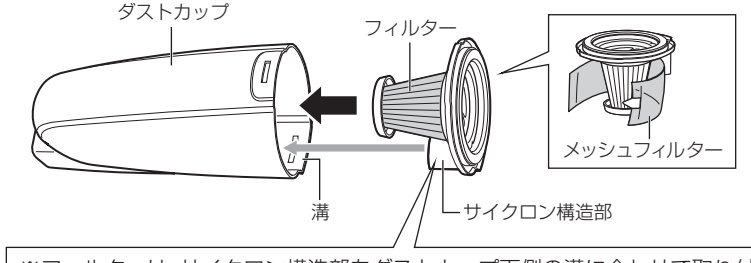
※メッシュフィルターが汚れた場合は、お手入れを行ってください。

「**お手入れのしかた**(☞16 ページ)参照」

6 フィルターをダストカップに取り付ける

- 取り付け位置を確認し、奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。

※フィルターのメッシュフィルターは必ず取り付けてください。

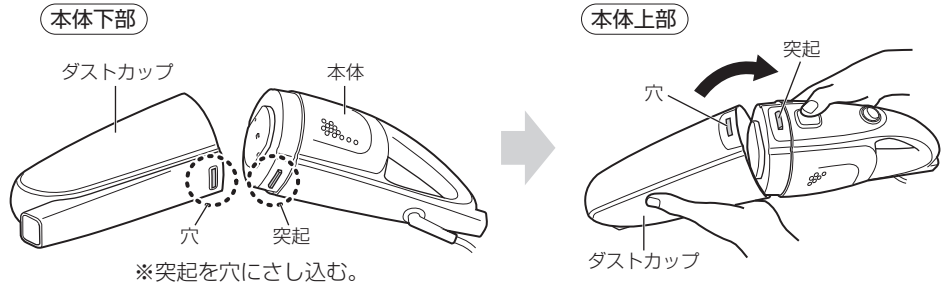


※フィルターは、サイクロン構造部をダストカップ下側の溝に合わせて取り付ける

7 ダストカップ部を本体に取り付ける

- ダストカップ下部の穴と本体下部の突起を合わせ、“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。

※取り付けがかたい場合は、ダストカップ取り外しボタンを押しながら確実に取り付けてください。



※突起を穴にさし込む。

お手入れのしかた

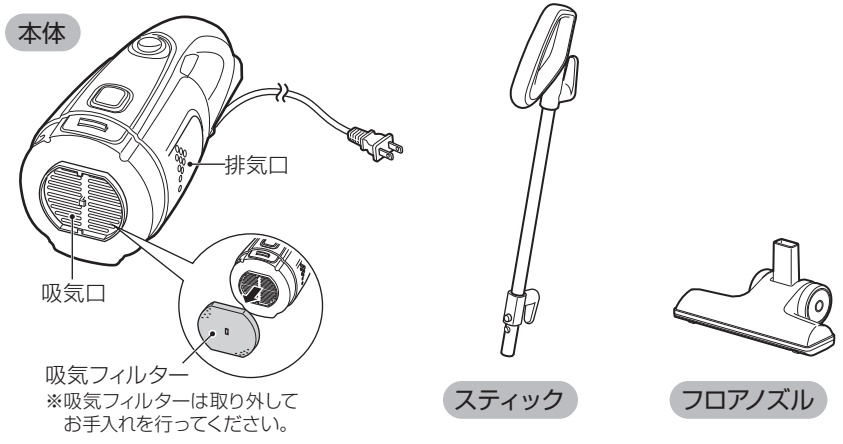
お願い

- お手入れを行うときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れの際にシンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使わないでください。変色・変形・変質・破損し、故障の原因となります。
- 排気口や吸込口、フィルターに汚れが付着したまま使用すると、吸込力が弱くなったり、モーターが故障する原因となります。定期的にお手入れを行ってください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因となります。
- 粉末や砂などを吸い込むと、フィルターが目詰まりをおこす場合があります。粉末や砂などを吸い込んだときは、すぐにお手入れを行ってください。
- 本体・スティック・フロアノズルを水に浸けたり、丸洗いしないでください。火災・感電・ショート・故障の原因となります。
- フィルターを水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火・故障の原因となります。

消耗部品はメーカー保証対象外で有償です。ご使用にともない劣化したり損傷したときは、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

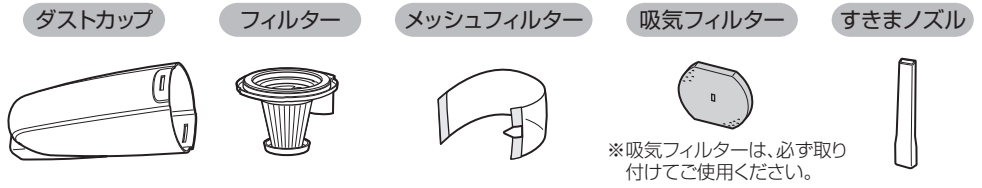
本体・スティック・フロアノズル

- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
  ※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 吸気口・排気口についたホコリは取り除いてください。ホコリがついたまま使用すると故障の原因となります。
- 吸気フィルターは取り外してお手入れを行ってください。（右記の吸気フィルターのお手入れをご参照ください）



ダストカップ・フィルター・メッシュフィルター・吸気フィルター・すきまノズル

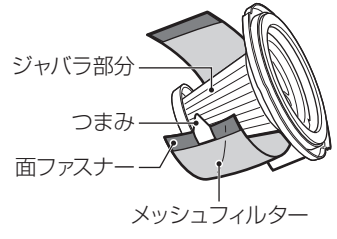
- ブラシなどで取り除いてください。
  ※毛の硬いブラシは使わないでください。傷がつくおそれがあります。
- 汚れが落ちにくいときは、水洗いをしてください。水洗いしたあとは、水をよく切って十分に陰干ししてください。ぬれたまま取り付けると、感電・発火の原因となります。
  ※35℃以上のお湯で洗わないでください。
  ※フィルターはもみ洗い、浸け洗いをしないでください。破損するおそれがあります。
  ※ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変色や変形の原因となります。
- 粉末や砂などを吸い込むと、フィルターが目詰まりをする原因となりますので、すぐに水洗いを行ってください。



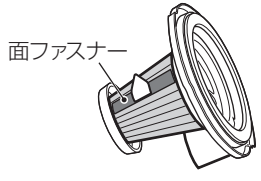
■ メッシュフィルターの取り外し・取り付けかた

※ジャバラ部分やメッシュフィルターが傷つかないようにお手入れを行ってください。

- 取り外すときは、メッシュフィルターのつまみを持ち、面ファスナーをゆっくりと剥がす。



- 取り付けるときは、フィルターのジャバラ部分をおおうようにしっかり固定してください。

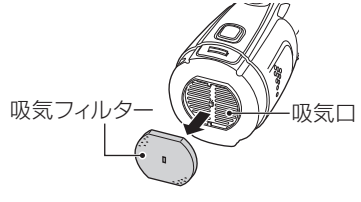


※ジャバラ部分からはみ出ないように取り付けてください。

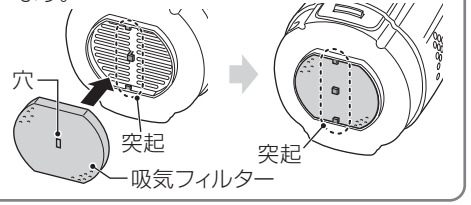
■ 吸気フィルターの取り外し・取り付けかた

※吸気フィルターが破れないようにご注意ください。

- 取り外すときは、吸気フィルターをつまんでゆっくりと取り外す。



- 取り付けるときは、吸気フィルターの穴に中央の突起をさし込み、突起（3ヵ所）で固定します。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

症　状	確認してください	処置の方法 ｜ 参照ページ
電源スイッチを「❙」側に倒しても運転しない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。 11
運転音が大きくなった 吸込力が弱くなった	ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか？	ゴミを捨ててください。 13
	ノズルにゴミが詰まっていませんか？	詰まっているゴミを取り除いてください。 15･16
	吸気口にゴミやホコリが付着していませんか？	お手入れを行ってください。 15
	ノズルが本体のノズル接続口にしっかりさし込まれていますか？	ノズルを本体のノズル接続口に確実にさし込んでください。 9･10
	フィルター・吸気フィルターが汚れていませんか？	お手入れを行ってください。 16
	ダストカップ部が確実に取り付けられていますか？	ダストカップ部を本体に確実に取り付けてください。 14
使用中に運転が停止する	モーターの過熱を防ぐため、安全装置が働いていませんか？	①電源プラグを抜く ②安全装置が働いた原因を調べる ➡ダストカップ内部（各フィルター）のゴミを取り除く。 ➡ノズルに詰まっているゴミを取り除く。 ➡連続吸引すると、本体の詰まり、モーター負荷、過熱故障の原因となります。長時間の連続吸引を避けてください。 ③30分待つ （モーターが冷えて、安全装置が解除される） ー

排気がにおう	フィルターが汚れていませんか？	お手入れを行ってください。 16
	ダストカップ部を水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか？	乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。 16
	フィルターを水洗いしたあと、十分に乾燥しましたか？	乾燥が不十分な状態で使用すると、においが発生する原因となります。十分に乾燥させてください。 16
ゴミが飛び散ってしまう	ダストカップ部が確実に取り付けられていますか？	ダストカップ部を本体に確実に取り付けてください。 14
	フィルターが正しく取り付けられていますか？	フィルターを正しく取り付けてください。 14
	ゴミの逆流防止弁がないため、吸込口を上方向に向けないでください。	ー
ダストカップが閉まらない	フィルターが正しく取り付けられていますか？	フィルターを正しく取り付けてください。 14
使用中、本体が温かい	少し温かくなりますが故障ではありません。	ー

点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
詳しくは、20ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕 様

品　　名	コード式スティッククリーナー
品　　番	YC-S80G1
定 格 電 圧	交流100V　50-60Hz 共用
消 費 電 力	400W
吸込仕事率	75W
集 塵 容 積	0.8L
吸 込 方 式	サイクロン式
コードの長さ	約 5.0m
外 形 寸 法	幅 約245 × 奥行き 約145 × 高さ 約103 mm
質　　量	約1.7Kg
付　属　品	すきまノズル
消 耗 部 品	フィルター・メッシュフィルター・吸気フィルター

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
※この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

長年ご使用のコード式スティッククリーナーの点検を！

こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なにおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。	こんなときは	**使用を中止してください。** 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。	→	ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書
- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼されるとき
- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間
このコード式スティッククリーナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダオリジナル商品サポートセンターや保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- ヤマダオリジナル商品サポートセンターでお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

Memo

Memo